



10月15日(土) 晴れ

今日は、前回(9月24日)の縄文の森塾で、刈り取り、天日干しをしていた稲の脱穀をしました。

脱穀は、江戸時代に発明された「千歯(せんば)こき」と大正時代から使われ始めた「足踏み式脱穀機」を使って、昔ながらの脱穀を体験しました。「千歯こき」による脱穀では、鉄製の櫛状の歯に稲穂を通し、籾(もみ)をこき落とすのに大変な力が必要で昔の人たちの苦労も身をもって感じました。



次に6月の縄文塾で植え付けたサツマイモの芋掘りを行いました。

品種は焼き芋やスイーツに向いている「安納イモ」。どんなイモが出来ているか、期待しながら、傷つけないよう慎重に掘り起こしました。1本のつるに握りこぶし位のイモが7個つらなって出てきた時は、思わず「すごい、大きい」と歓声があがっていました。収穫したお芋は家族へのお土産として持ち帰りました。



昼食は、朝、塾生がさや取りをし、調理サポーターに料理していただいた丹波黒豆の枝豆ごはんとクリームシチュー。

「本当、美味し〜い、いくらでも食べられる」言って、おかわりする塾生が続出しました。



午後からは杉本サポーターの指導で、自然物を使ったクラフト作りに挑戦しました。

丹波市の(株)大地農園から提供いただいた色とりどりのドライフラワーやリース、杉本さんに用意していただいた松ぼっくり、どんぐり、綿花などの草花をアレンジして、世界にひとつしかないクリスマスリースを作りました。